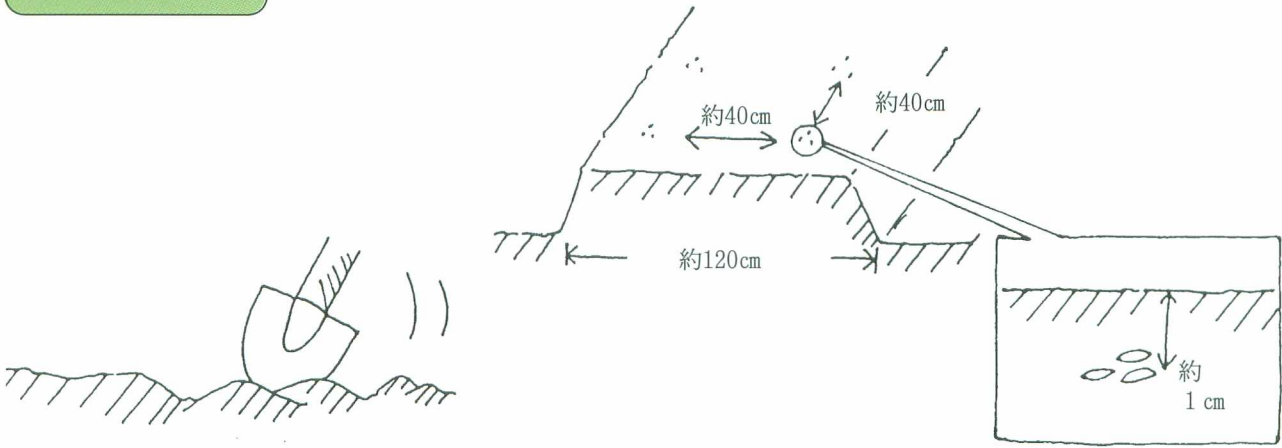


ヒマワリ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
普通栽培				○ ⇔ ○		—————						

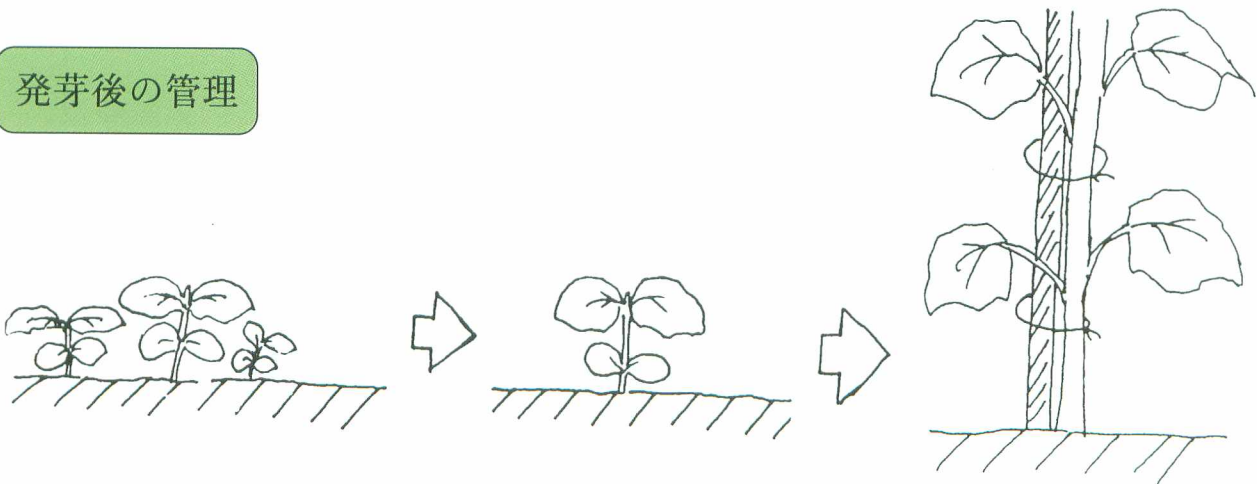
準備・種まき



土をよく耕します。基肥は少量にします。

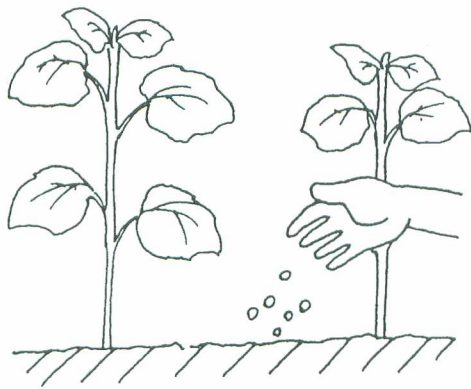
図のようにうねを作ります。種は40cmくらいの間隔で1カ所に3粒ずつ、1cmの深さに埋めます。

発芽後の管理

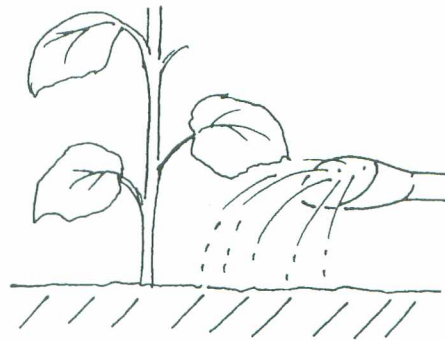


発芽し、本葉が2枚以上でたら生育の良い苗を1本残し、残りの2本は間引きします。ヒマワリが大きくなって、倒れてくるようなら木の棒や竹で支柱をします。

かん水・肥料



追肥は葉の色が薄かったり茎が細いとき、化成肥料を少しやります。やる場合は株と株の間にまくようにします。



かん水は、発芽するまでは十分に与え、その後は土の表面が乾いたら与えます。

花と種とり

種まきの時期により、開花の時期はやや違いますが、7月中旬～9月下旬の間に花が咲きます。花が咲き終わり少したって、花の頭が下を向き種が充実しているのを確認したら花の頭を切り取ります。その後日陰で良く乾かした後、種をとり缶などに入れておきます。

コメント

「ヒマワリ」は漢字ではどう書くのでしょうか？正解は「向日葵」です。ヒマワリは太陽に向かって咲くと言われていています。実際北を向いたヒマワリは見かけないと思います。

では、ヒマワリはどの方向を向いて咲いているのでしょうか？南でしょうか？それとも別方向？。一度育てて観察してはいかがでしょうか？

